

地域問題特論Ⅵ

担当者 明石 芳彦

開講時期 前期 単 位 1

「都市・地域経済の活力と課題」

●講義の概要

本講義では、現在の日本における首都圏以外の都市・地域における共通問題として、都市・地域経済の活力維持と魅力向上に関する検討素材を取り上げ、実態分析を中心に先行研究成果と研究上の論点を講義する。たとえば、地域における既存産業の実態、雇用機会の状況、地域資源活用や地域産業のあり方、活性化の捉え方、都市・地域経済圏の捉え方、等について、理論的・実証的研究の成果に基づき、解説する。

●講義の到達目標

本講義では、現在日本における首都圏以外の都市・地域経済の活力維持と魅力向上に関する概念、理論、政策と政策課題の概要を理解し、研究上の論点を明確に把握する。また、それらに関連する研究課題の設定の仕方や研究方法を習得する。

●講義計画

- 第1回 都市・地域の現状と課題の捉え方
- 第2回 都市・地域経済の規模と持続可能性
- 第3回 地域産業の空洞化・衰退と産業振興
- 第4回 都市・地域の雇用と産業・中小企業
- 第5回 都市・地域の経営と財政
- 第6回 都市・地域活性化の捉え方
- 第7回 都市・地域の魅力と活力・活性化
- 第8回 都市・地域の発展と経済政策

●成績評価基準と方法

①評価方法

期末のレポートにより評価する。

②評価基準

本講義を受けて、都市・地域経済の活力に関連する論点や政策課題を適切に理解した上で、レポート課題を的確な表現や方法で文章として示すことができている。

●テキスト又は参考文献

使用しない。必要に応じて、参考文献を指示し、資料を配布する。

●受講上の留意点

事実や実態を知ることが研究の目的ではない。なぜ、そのような実態が生じるかを考えることが重要である。

先行研究の知見を通じて、自分の関心事を明確にし、何を明らかにしたいかを常に意識することが望まれる。また、論文としての学術的意義は、先行研究との対比で検討することが重要である点を理解する。